

2013. 4【vol.34】

水レター「びわ湖・よど川」

独立行政法人水資源機構 関西支社
発行

水資源機構全体の取り組みや関西支社管内における情報のほか、琵琶湖・淀川水系の水源地域情報を、水レター「びわ湖・よど川」により、関係機関の皆様にお知らせします。

index

- | | |
|--|----|
| 1. 原関西支社長 退任のご挨拶 | 1p |
| 2. 関西支社管内の気象と水源状況 | 2p |
| 3. 水資源機構をめぐる状況について | 3p |
| 4. 関西支社50年を振り返って | 4p |
| 5. 機構からの出向者紹介 | 5p |
| 6. 水源地マラソン紀行（その10） | 6p |
| 7. 『仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ(関西いろはカルタ)』のご紹介 | 7p |
| 8. 関西支社の顔ぶれがかわりました | 7p |
| 9. イベント情報 | 8p |
| 編集後記 | |



水がささえる豊かな社会



独立行政法人 水資源機構

1. 原関西支社長 退任のご挨拶

拝啓 陽春の候 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

皆様には、平素より琵琶湖淀川水系での私ども水資源機構事業にご支援ご協力賜りまして、誠にありがとうございます。

平成24年度は、一昨年のような大きな出水や関東地方に見られた渇水傾向も生じることなく、河川上流の水源開発施設について適切に操作と管理をさせて頂くことができました。これもひとえに利水者、関係機関の皆様方のダム等の水源施設の維持管理への深いご理解の賜物と感謝申し上げます。

さて私事ですが、このたび平成25年3月31日をもちまして、水資源機構 関西支社長を最後に水資源機構を定年退職いたしました。お陰様で5年半にわたり関西支社長を務めさせて頂くことが出来ました。この間、皆様には公私ともに格別のご指導とご厚情を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

ところで、宮本武蔵は、『五輪書』「水の巻」の最後でこうっております。

「千日の稽古を鍛とし万日の稽古を練とす、能々吟味あるべきもの也」

「千日と言え、ざっと3年です。3年の日々の稽古を費やしてようやく鍛え上がる。その鍛え上げたものを土台に、万日と言え、概ね30年、さらに30年の日々稽古に稽古を積み重ねて、初めて練り上がる」と言うことでしょうか。私たち水技術者の目指す道にも通ずることかと思えます。

私は、ここ数年自らを「水技術者」と称させていただいております。これまでは、ダム技術者もしくはは広く土木技術者と名乗ってきたわけですが、私たちの水を取り巻く世界とりわけ「安全で良質な水を安定して安くお届けする」との経営理念を掲げる水資源機構の技術者の呼称としては、水源から蛇口までの一貫通貫した視点で水に係わるという意味で、水道技術者をも包含した「水技術者」がふさわしいと考えたからです。

今後は、ダム等の水源を管理するダム技術者と浄配水場を管理する水道技術者とのコラボレーション、つまりより広い視点での水技術者が求められる時代かと思われま。

私たちも水道技術の更なる研鑽に励み、利水者の皆様と密接に連携して「安全で良質な水を安定して安くお届けする」という使命を果たしていければと思えます。

引き続き水資源機構へのご指導ご支援をお願いし、そして利水者の皆様とより深い絆が築けますことを祈念しまして退任のご挨拶とさせていただきます。

敬 具

平成25年3月31日

水資源機構関西支社 支社長 原 稔明

2. 関西支社管内の気象と水源状況

3月の気象状況は、気象庁の発表によると、西日本は、移動性高気圧に覆われることが多く、降水量がかなり少なかったようですが、低気圧の影響により、中旬にまとまった降雨があり、関西支社管内の水源における月間の降水量は、一庫ダムおよび琵琶湖を除き、ほぼ平年並であり、各水源（各ダム）の流況は安定した状況でした。

関西支社管内における各水源（各ダム）の貯水率は、ほぼ満水で推移しており、高山ダム、一庫ダム、日吉ダムでは、4月から洪水貯留準備水位へ向けて、貯水位を徐々に下げはじめました。

～ 水資源機構(関西支社管内)の水源状況 ～

平成25年4月9日 9:00現在

施設名	貯水位(標高. m)	貯水量(万m ³)	貯水率(%) ^{※2}	降水量(mm) ^{※3}	
				(観測値)	(平年値)
高山ダム	132.48	4,295	87.3	107	101
青蓮寺ダム	276.50	1,865	97.7	127	102
室生ダム	295.08	1,289	96.9	144	102
布目ダム	283.54	1,231	97.0	112	101
比奈知ダム	300.49	1,493	97.6	125	93
一庫ダム	147.63	2,519	94.0	49	100
日吉ダム	190.53	3,442	95.6	129	89
琵琶湖	B.S.L. -1cm	—	—	66.8	118.0
7ダム 合計	—	16,134	91.6%	—	—

※1 琵琶湖水位は、4月9日 6:00の水位を表示しています。

※2 貯水率は、10月16日より非洪水期の利水容量で計算しています。

※3 降水量については、3月1日～31日までの累計値で、琵琶湖は流域平均雨量、各ダムはダム地点降水量を表示しています。

水資源機構の関西支社管内における各ダムの貯水状況は、関西支社ホームページの水源情報に掲載しております。

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai/html/suigen/suigen.html>

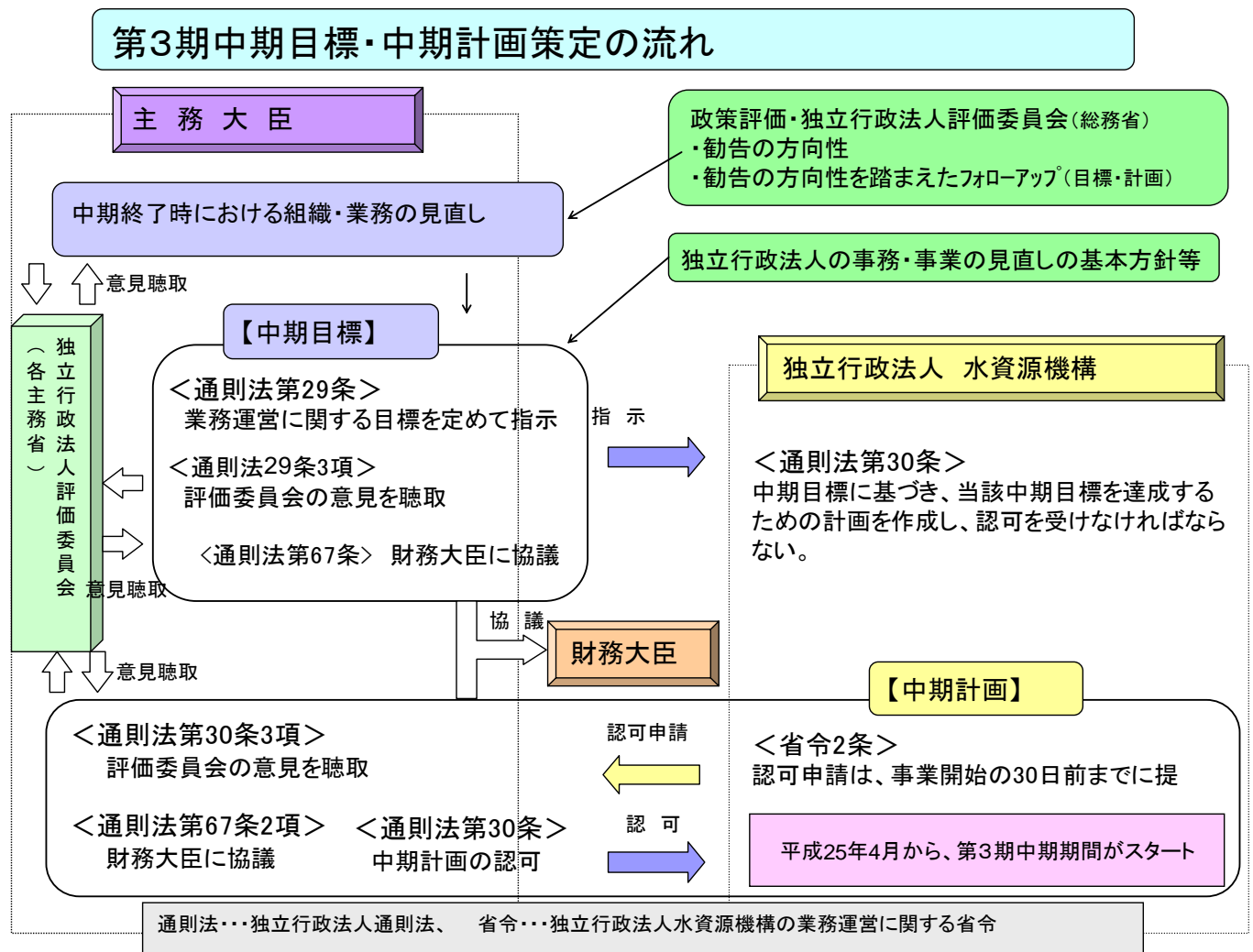
(関西支社 施設管理課)

3. 水資源機構をめぐる状況について

水資源機構をめぐる状況としては、独立行政法人の制度及び組織の見直しの基本方針（平成24年1月20日閣議決定）に基づき、政府は「独立行政法人通則法の一部を改正する法律案」を第180通常国会に提出し審議されておりましたが、平成24年11月16日の衆議院解散に伴い、審査未了によって廃案となりました。

平成25年1月29日、内閣総理大臣を本部長とする行政改革推進本部が設置され、当面は①独立行政法人改革、②特別会計改革、③無駄の撲滅という3つの分野を中心に取り組むことが表明されました。

また、平成24年度末に水資源機構の中期目標期間が終了します。このため、第3期中期計画の策定に向け、総務省の政策評価・独立行政法人評価委員会では、水資源機構の主要な事務及び事業の改廃に関する「勧告の方向性」を決定し、1月21日に国土交通大臣に通知しました。示された内容は以下のとおりです。



勧告の方向性

【建設事業】

- ・ダム事業の検証については、早期の結論を得て、事業廃止の場合は費用負担法の決定、事業継続の場合はコスト増の抑制・円滑な事業執行

【施設管理業務】

- ・民間委託の拡大、効率的な管理の推進
- ・施設の老朽化対策、ストックマネジメントの推進
- ・総合技術センターの見直し、組織のスリム化

この勧告の方向性を踏まえ、主務大臣である国土交通大臣より平成25年3月1日に中期目標の指示を受け、目標を達成するための第3期中期計画（平成25～29年度）の作成および認可申請を行い、3月29日に認可されました。

第3期中期目標および中期計画、平成25事業年度の年度計画については、水資源機構のホームページに掲載しております。詳細は、以下のリンクからご覧ください。

<http://www.water.go.jp/honsya/honsya/outline/gyoumu/index.html>

（関西支社 利水者サービス課）

4. 関西支社50年を振り返って

昭和37年に、水資源開発公団（現水資源機構）の設立に伴って関西支所（現関西支社）が発足してから50年が経過しました。その間に、淀川水系においては、「長柄可動堰」「高山ダム」「青蓮寺ダム」「正蓮寺川利水」「室生ダム」「初瀬水路」「一庫ダム」「琵琶湖開発事業」「布目ダム」「日吉ダム」「比奈知ダム」の11事業を完成させ、それらの施設を管理しております。また、「丹生ダム」「川上ダム」の2つの建設事業を実施しております。

淀川水系における河川総合開発の歴史

年	出来事
1943年（昭和18年）	淀川河水統制事業第一期事業着手
1954年（昭和29年）	淀川水系改修基本計画策定
1957年（昭和32年）	（特定多目的ダム法制定）
1961年（昭和36年）	（水資源開発促進法制定）
1962年（昭和37年）	水資源開発促進法に基づく水系指定（4月） 水資源開発公団設立（5月） 淀川水系における水資源開発基本計画の策定（8月）
1966年（昭和39年）	長柄可動堰完成（昭和37年着手）
1967年（昭和40年）	天ヶ瀬ダム完成（昭和32年着手）
1969年（昭和44年）	高山ダム完成（昭和37年着手）
1970年（昭和45年）	青蓮寺ダム完成（昭和41年着手） 正蓮寺川利水事業完成（昭和42年着手）
1974年（昭和49年）	室生ダム完成（昭和44年着手）
1983年（昭和58年）	一庫ダム完成（昭和43年着手）
1992年（平成4年）	琵琶湖開発事業完成（昭和48年着手） 布目ダム完成（昭和54年着手）
1998年（平成10年）	日吉ダム完成（昭和57年着手）
1999年（平成11年）	比奈知ダム完成（昭和57年着手）

平成25年3月6日（水）、『関西支社50年を振り返って』と題し、淀川水系の水資源開発のあゆみや水資源開発公団草創期の事業である長柄可動堰、高山ダム、青蓮寺ダムの建設について、その当時を知る方々から講演をいただき、関西支社管内の職員約50名が聴講しました。

関西支社50年にあたり、改めて諸先輩方の努力に感謝し、その志と技術を今一度思い起こして、これからも地域と流域の人々に信頼される「水のプロ集団」として歩いていく所存ですので、今後ともご指導・ご鞭撻よろしくお願いいたします。

また、今後の水レター「びわ湖・よど川」において、淀川水系で実施された事業の紹介を連載してまいりますので、ご覧ください。

（関西支社 利水者サービス課）



高山ダム施工計画配置図（昭和41年頃）

5. 機構からの出向者紹介

国土交通省近畿地方整備局淀川ダム統合管理事務所の管理課で働く『中嶋 聡さん』を紹介します。

中嶋さんは、平成9年に水資源開発公団に入社し、昨年の4月に、水資源機構中部支社から現在の事務所に出向して、主にダム統合管理事務所と天ヶ瀬ダムの予算管理および天ヶ瀬ダムの維持管理工事や業務の発注を行っています。

国交省（ダム統管）に赴任した当初は、契約システムの使い方など苦労したそうですが、10ヶ月経った現在では、問題なく使いこなしているようです。

淀川水系には国土交通省や水資源機構が管理するダムや堰が9施設あり、ダム統管では、水系全体のバランスを考慮して、調整を行っています。以前、群馬県と埼玉県の間にある下久保ダムで管理所勤務をした経験が、非常に役に立っているとのことでした。

また、天ヶ瀬ダムでは、今後、全国のダムで30年に一度程度実施されることになるダム総合点検を管理中のダムの先駆けとして実施され、モデルケースとなった天ヶ瀬ダムやダム統管での経験により、ダム管理に関する知見が深まったとのこと。

昨年は、8月13～14日の宇治市を襲った大気状態不安定による出水（最大時間雨量71mm）により、天ヶ瀬ダムの貯水池法面に被害を受け、また、大量の流芥の流入がありました。災害復旧の申請や工事の発注に追われ、年末まで業務多忙であったそうです。

事業概要を説明する中嶋さん（右側）



毎年2月から3月にかけては、琵琶湖流域の雪解けによる出水対応で、天ヶ瀬ダムの操作を行うために、月に2回程度はダム管理支所に泊まり込んだそうです。また、平成24年度末では、債務工事の発注や次年度の業務発注で大変多忙な日々であったと聞いております。（お身体に気を付けてくださいね。）

仕事の話はここまでくらいにしておき、中嶋さんのプライベートな面も少し伺ってみました。趣味は、以前はサーフィンをやっていたとのことですが、

今は、休日に奥さんと食事や晩酌をすることが楽しみたいです。とても家庭思いの優しい中嶋さんですが、仕事に対しても想いが熱く、情熱が伝わってきました。

今後においても体調など崩すことがないように頑張ってくださいと思います。

（関西支社 利水者サービス課）

水レター「びわ湖・よど川」では、次号からも出向者の紹介を連載してまいります。

6. 水源地マラソン紀行 (その10)

春めいてまいりましたが、大阪の公園では、先週まで満開であった桜も緑が目立つようになりました。

2月は駅伝と10kmの大会ばかりで、あまり長い距離を走る機会がありませんでした。3月に入り、一度、近所のハーフマラソンに出場しましたが、スタミナ切れで途中から失速。1月に走った記録より約10分も悪いタイムでした。

今回は、3月20日淀川河川敷で行われた「淀川国際ハーフマラソン」10kmの部に出場しましたので、その模様をお伝えします。

「淀川国際ハーフマラソン」は平成23年に始まった大会で3回目を迎える歴史の新しい大会であり、河川環境管理財団が主催し、国土交通省淀川河川事務所が後援する大会です。この大会は淀川左岸の守口市をスタートし、寝屋川市、大阪市の河川敷を往復する大会ですが、気温が高くなる3月に行われること、フラットなコースで好記録が出やすいこと、都市圏に近いことから人気があり、参加者の多い大会です。また、この大会にはマラソンメダリストの有森裕子さん、歌手でマラソン愛好家の高石ともやさんが大会をサポートする大会で、その中でも有森裕さんは出場ランナーの激励・応援をしながら伴走されます。あまり緊張感のないランナーがメダリストに激励されると、テンションも自ずと高くなります。

昨年この大会では、ハーフマラソンにエントリーしましたが、スタート時間を間違え、約5分遅れでスタートするという痛恨の記憶の残る大会でもありました。今年はスタート時間を間違えることなく、スタート。10kmの部はハーフマラソンと違い、人数も少ないこともあってか号砲からスタートゲートを通すのまでに数秒と言う極めてスムーズなスタートです。天候も一時、雨が降るとの予報も何とかゴールまで持ちこたえてくれます。途中、中間点付近でペースが落ちそうになりますが後半、応援に駆けつけてくれた有森選手に「あごを引いて走って」と叱咤激励・ランニングフォームのアドバイスまで受けるおまけ付きで、そのままがんばってゴールしました。調子が悪かった割には自己ベスト更新ができました。ありがとう「有森さん」です。

大会会場では、大会を後援している淀川河川事務所の河川資料館の出張展示があり、今回は、淀川の自然を詳しく紹介していました。河川事務所では時期やイベントの主旨に沿って展示内容も変わるようです。是非淀川河川敷での大会参加の節は立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

「水源地マラソン紀行」の掲載は、今回で10回目となりました。今後とも淀川、水源地のマラソン大会についてレポートしていきます。

(ダムを走る男)



選手を激励する有森さん、高石さん



淀川資料館も出張展示

7. 『仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ（関西いろはカルタ）』のご紹介

第一次南極越冬隊長などを歴任した西堀榮三郎博士らが選んだ創作ことわざ「西堀かるた」があります。それは、ユーモアと示唆に富み、その面白さと生活に“希望を与え、決心を促し、人生を楽しくする”西堀かるたは近年賛同者が増えています。水資源機構関西支社でも、「西堀かるた」に倣い、国民や利水者の皆様からの更なる信頼を得て、より強い組織づくりを図るため、職員一人ひとりの仕事への取り組み方、定時退庁の呼び掛けや心構え等も含めた日頃の業務の指標として、「関西いろはカルタ」を平成23年度に作成いたしました。

関西管内の事業所で取りまとめた『仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ（関西いろはカルタ）』を紹介いたします。



次回は、『み』、『し』、『系（え）』です。

8. 関西支社の顔ぶれがかわりました

所 属	転 入		転 出	
	氏 名	(前所属)	氏 名	(転出先)
支社長	藤田 乾一	(吉野川局長)	原 稔明	(定年退職)
副支社長	森川 一郎	(近畿地方整備局淀川河川事務所長)	関沢 元治	(退職; 岡山県土木部長)
総務部長	小出 裕之	(筑後川局次長)	谷 雅典	(総合技術センターマネジメントグループ長)
事業部長	左近 重信	(池田総合管理所長)	—	
事業部付	金藤 康昭	(設備課長)	—	
利水者サービス課	尾花 杏子	(大山ダム建設所)	高橋 宏行	(川上ダム建設所)
施設管理課	鈴木 弘二	(本社技術管理室)	平尾 英司	(琵琶湖開発総合管理所)
計画課長	伊藤 昌資	(近畿地方整備局福知山河川国道事務所建設専門官)	矢野 則弘	(退職; 近畿地方整備局河川部建設専門官)
設計環境課長	田野 弘明	(朝倉総合事業所副所長)	武田 浩一	(千葉用水総合管理所副所長)
建築課長	中川 政司	(中部支社建築課長)	堀江 稔	(本社技術管理室建築課長)
建築課	藤崎 英明	(大山ダム建設所)	黒肱 裕也	(琵琶湖開発総合管理所)
設備課長	武田 泰男	(本社設備情報課課長補佐)	金藤 康昭	(事業部付)
設備課	木下 雅紀	(大山ダム建設所)	楠 崇志	(豊川用水総合事業部)
中津川管理室	中原 敬林	(琵琶湖開発総合管理所)	多田 悦久	(中部支社)
中津川管理室	豊永 直	(筑後川局)	鶴田 信	(筑後川局)
関西支社上席審議役	原 稔明		—	

引き続きよろしくお願いたします。

9. イベント情報

関西管内の水源地近傍で行われるイベントを紹介します。
休日などに、立ち寄られてはいかがでしょうか。

イベント名	概要	日程	備考
布目湖畔サイクルフェスタ 2013 布目ダム施設見学会 (奈良県奈良市北野山町)	元ツアー・オブ・ジャパンコース(約25km)や大和高原コース(約50km)のほかファミリーコース(約5km)などがあります。 布目ダム施設見学会では、普段は見学できないダムの内部を見学できます。	平成25年5月19日(日)	参加するコースにより集合場所が異なります。詳しくは、奈良県サイクリング協会のホームページをご覧ください。 布目ダム施設見学会については、直接布目ダム管理所までお越し下さい。
【奈良県サイクリング協会】 http://www.nara-cycling.org/category/events/nunome-bike-festa/			
【布目ダム】 http://www.water.go.jp/kansai/kizugawa/index.html			
青蓮寺ダム周辺 (三重県名張市)	青蓮寺ダム周辺では、青蓮寺湖観光村ぶどう組合が栽培する「いちご狩り」が楽しめます。	開園期間 平成25年5月31日(金)まで 予約不要	車 名阪国道針インターから約30分 電車 近鉄「名張駅」下車バスで約10分
【青蓮寺湖観光ぶどう組合】 http://www.s-budou.jp/strawberry/			
日吉ダム周辺 (京都府南丹市)	日吉ダムの直下流にある道の駅「スプリングス日吉」では、温泉や岩盤浴のほか、水レターでご紹介した「ダムカレー」も食べられます。	休館日 水曜日	京都縦貫自動車道(園部I.C.)左折7km
【スプリングス日吉】 http://www.springs-hiyoshi.co.jp/			
第26回青山高原つつじクォーターマラソン大会	郷土が誇る豊かな自然の中で、青山高原ロード折り返しコース(室生赤目青山国定公園内道路)を景色を楽しみながら走ってみませんか。	平成25年5月26日(日)	申込みは、平成25年4月19日(金)消印有効なお、定員1,300名になり次第受付終了です。
【伊賀市】 http://www.city.iga.lg.jp/ctg/64746/64746.html			
2013マス釣り&猪名川浄化運動大会	マス釣り大会で大物を釣り上げた後には、美しい猪名川のを守るため清掃活動に参加しませんか。	平成25年4月28日(日)	主催:猪名川漁業協同組合



4月中旬から5月中旬にかけて、一庫ダム堤体付近を優雅に泳ぐ鯉のぼりが見られます。



4月27日~5月6日にかけて、比奈知ダム堤体の上空に鯉のぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。

編集後記

今年の桜の開花は、例年より1～2週間早めの開花であったようですが、この前の週末に襲った猛烈低気圧の影響で、満開であった桜が一気に散ってしまいました。今年は、満開の桜を見ることができなかった方も意外と多いのでは……。(私も、油断していたら、満開の桜を見逃してしまいました。)

話は変わりますが、先週の土曜日に、少年剣道教室に行ってきました。私の趣味で、週末は少年剣士達の指導のお手伝いをしております。少年剣士達は、元気いっぱい稽古に励んでおり、天候は大荒れでしたが、清々となる気持ちを与えてくれた気がします。子供達から元気を分けてもらいながら、当方も稽古に励み、日々精進していきたいと思う今日この頃です……。が、なかなか上達しないんですよ。“剣の道”はまだまだ果てしない感じです。



指導を受けている少年剣士たち

だんだんと暖かくなって、身体が動きやすい季節となってまいりましたが、年甲斐もなく調子に乗って怪我することなく、修練に励むこととします。

暖かい日や肌寒い日が交互に訪れるこの季節で、皆様におかれましても、体調など崩すことなく、お過ごしください。

(剣の道を志す男)

Japan Water Agency



独立行政法人
水資源機構

水資源機構ツイッター

http://twitter.com/jwa_PR

水資源機構関西支社

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai>

水レター「びわ湖・よど川」に対して、ご要望・ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。(耳寄りな情報もお待ちしております。)

mailto: w-kansai@msg.biglobe.ne.jp